

DX 企業講話 株式会社アルカディア 様



講師

株式会社アルカディア 代表取締役
春原 様

講話内容

- ・地域企業の DX の取り組み (DX とは、活用例、将来の姿、課題等)
- ・講師について、会社について
- ・板金加工の紹介、製品紹介 など

学生のワークシートから抜粋

【企業についてわかったこと・気づいたこと等】

- ・アルカディアの意味は、ギリシャ語の理想郷
- ・板金加工・電気・制御機械の製作などを行っている。
- ・駅のホームドアや、ペットボトルを作る機械の部品などを作っている。
- ・レーザー加工や曲げ、溶接の順で板金加工を行っている
- ・DX で曲げ加工を行うと試し加工がなくなり、ロスが低減
- ・DX の課題→事務所作業、組み立て配線作業では取り組みは進まない。

【感想】

- ・自分の身の回りには「アルカディア」の製品がたくさんあることを知れた。
- ・普段使っている物や、使われている製品がここで作られていておどろきでした。
- ・家電や自動車や、スマートフォンなどの、普段使っている製品がどのような技術・仕組みで動いているのか、興味を持って観察してみたいと思った。
- ・板金加工は多品種というのもあり、それも会社の武器としていかせるのだなと感じた。
- ・これから学ぶ技術を仕事で使えるようにしていきたい。
- ・板金加工というのは少ししか聞いたことがないものだったけど、それによって作られている製品がたくさんあることを知りました。
- ・機械や技術の進歩がすさまじく、それに合う技術を身に付けるのが大切だと思った。
- ・AI による仕事で、効率化がもっと進むのかと考えた。
- ・DX により作業の効率化がされていたが、その反面 DX の使うところにより、課題もあった。
- ・何のため、誰のための DX なのか考え理解を深めることができた。